

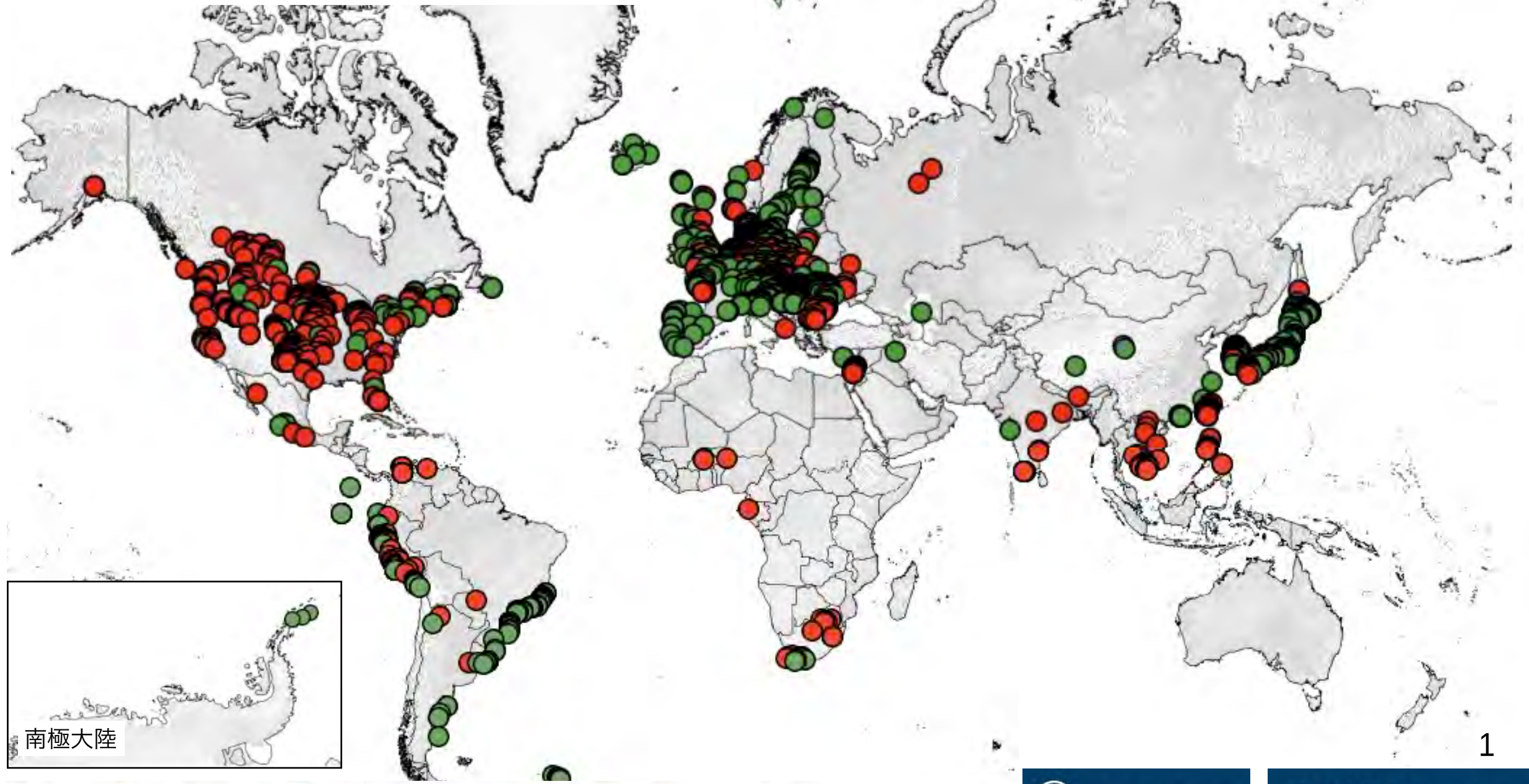
高病原性鳥インフルエンザ全国会議

2024年11月21日@オンライン

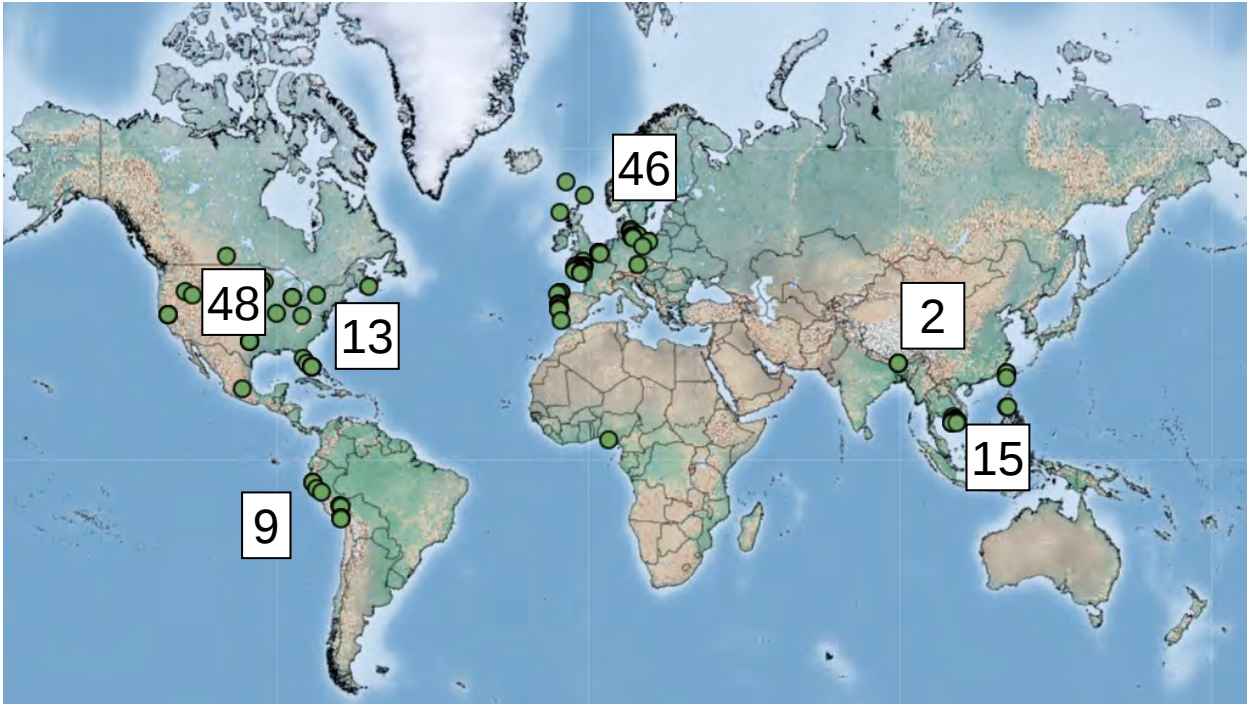
HPAI発生動向の分析

- 海外の発生状況
- 国内での今シーズンと過去の発生状況
- 今後の留意点と対策

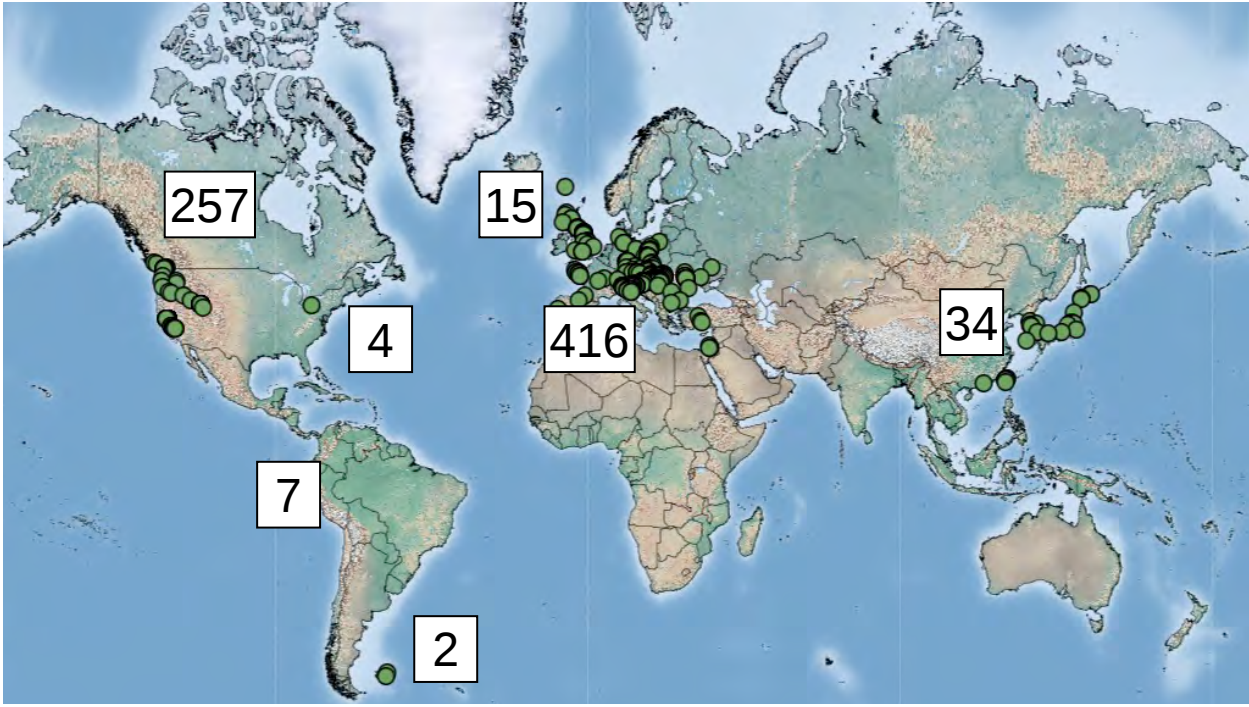
2023年9月1日から2024年8月7日: 2,072 件発生



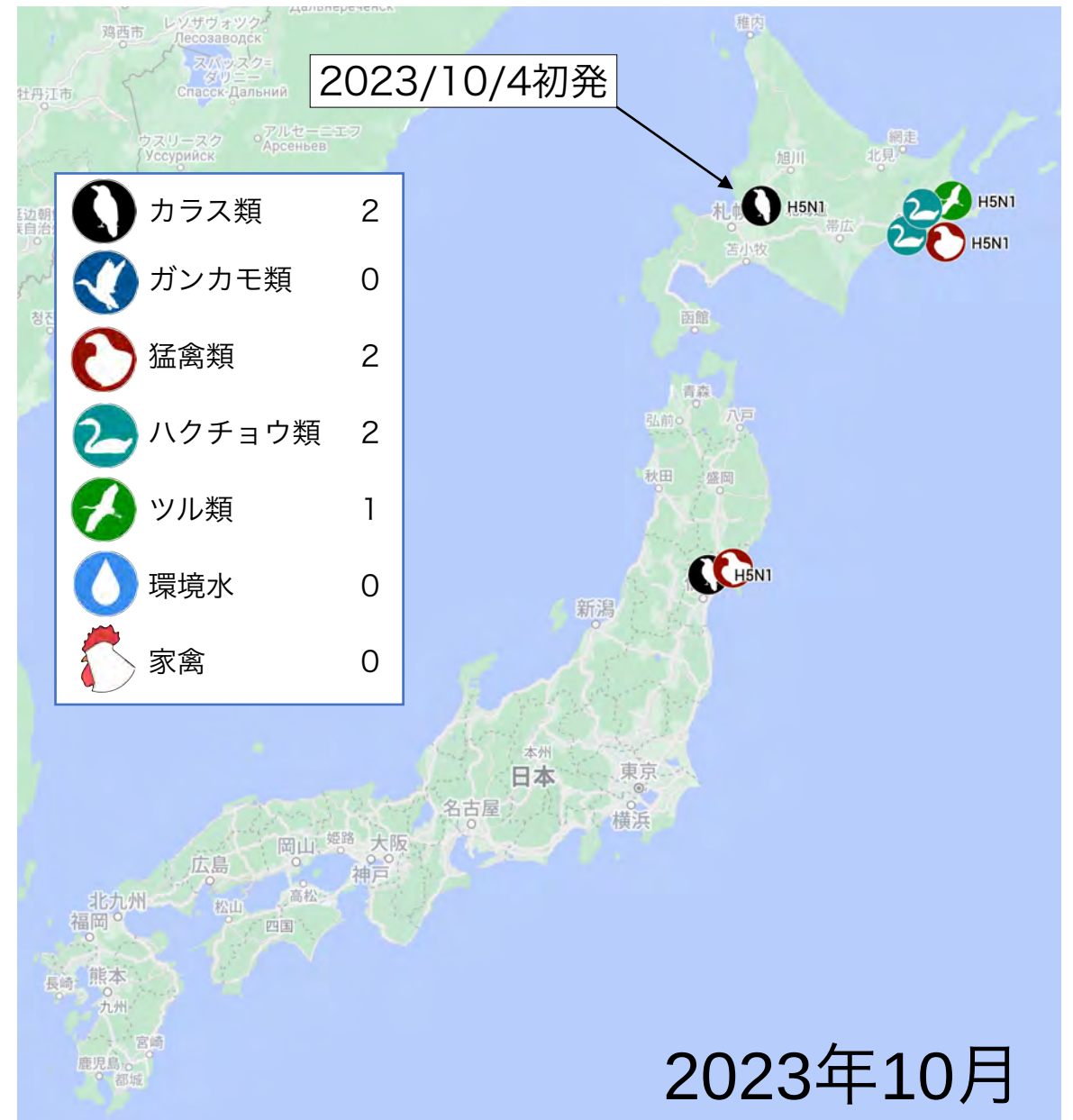
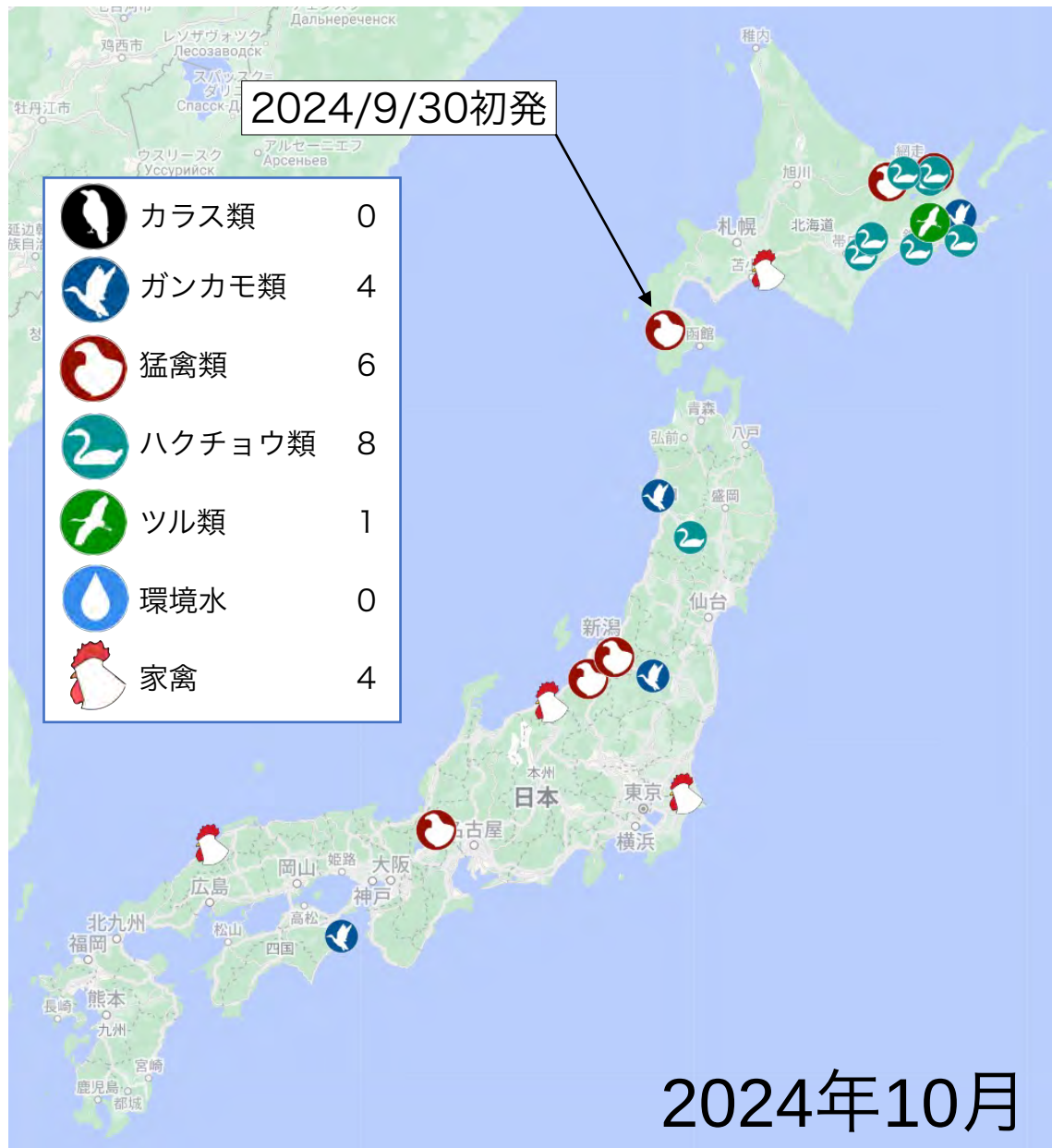
Wild Domestic Environmental sample Captive Mixed

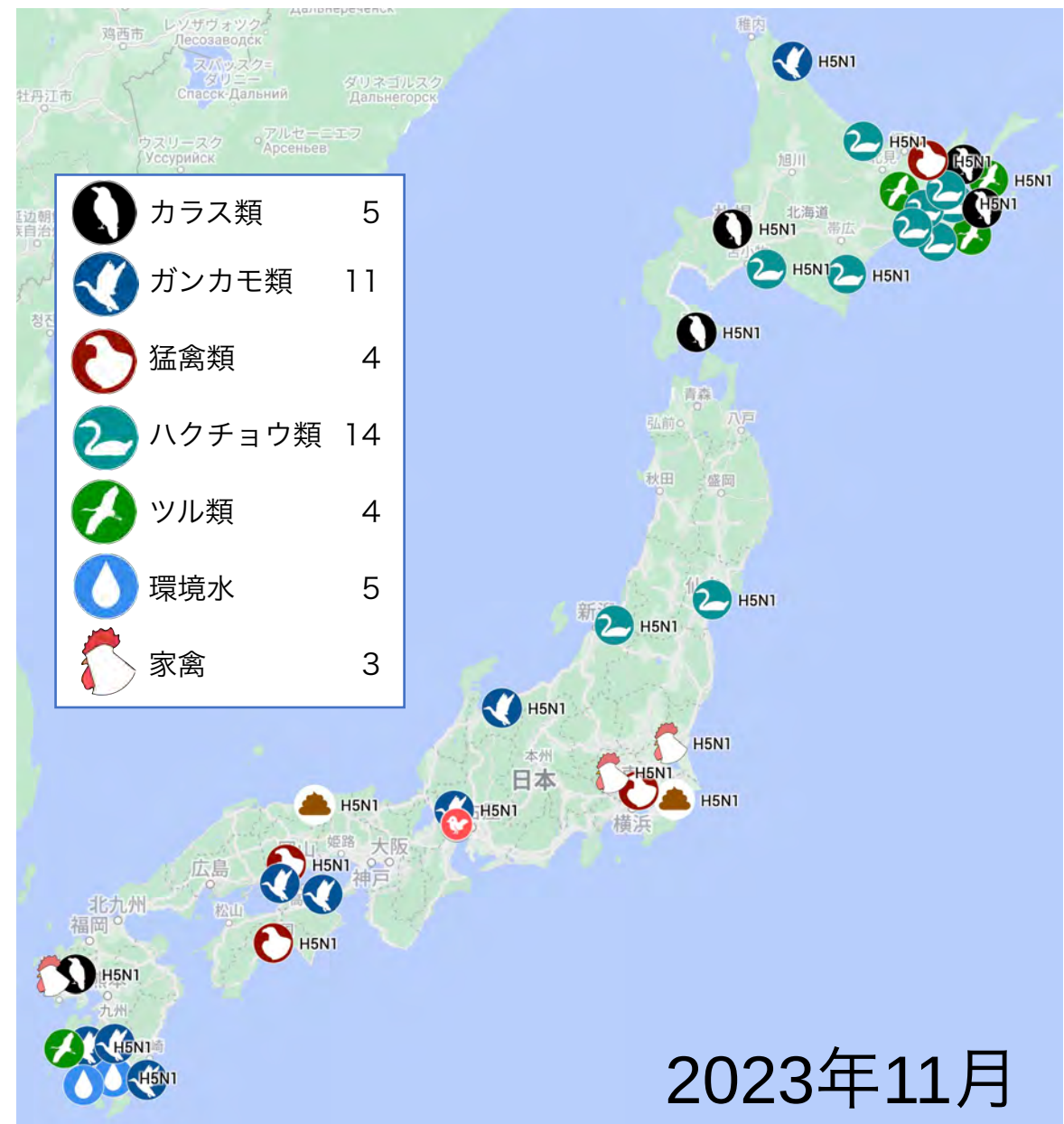


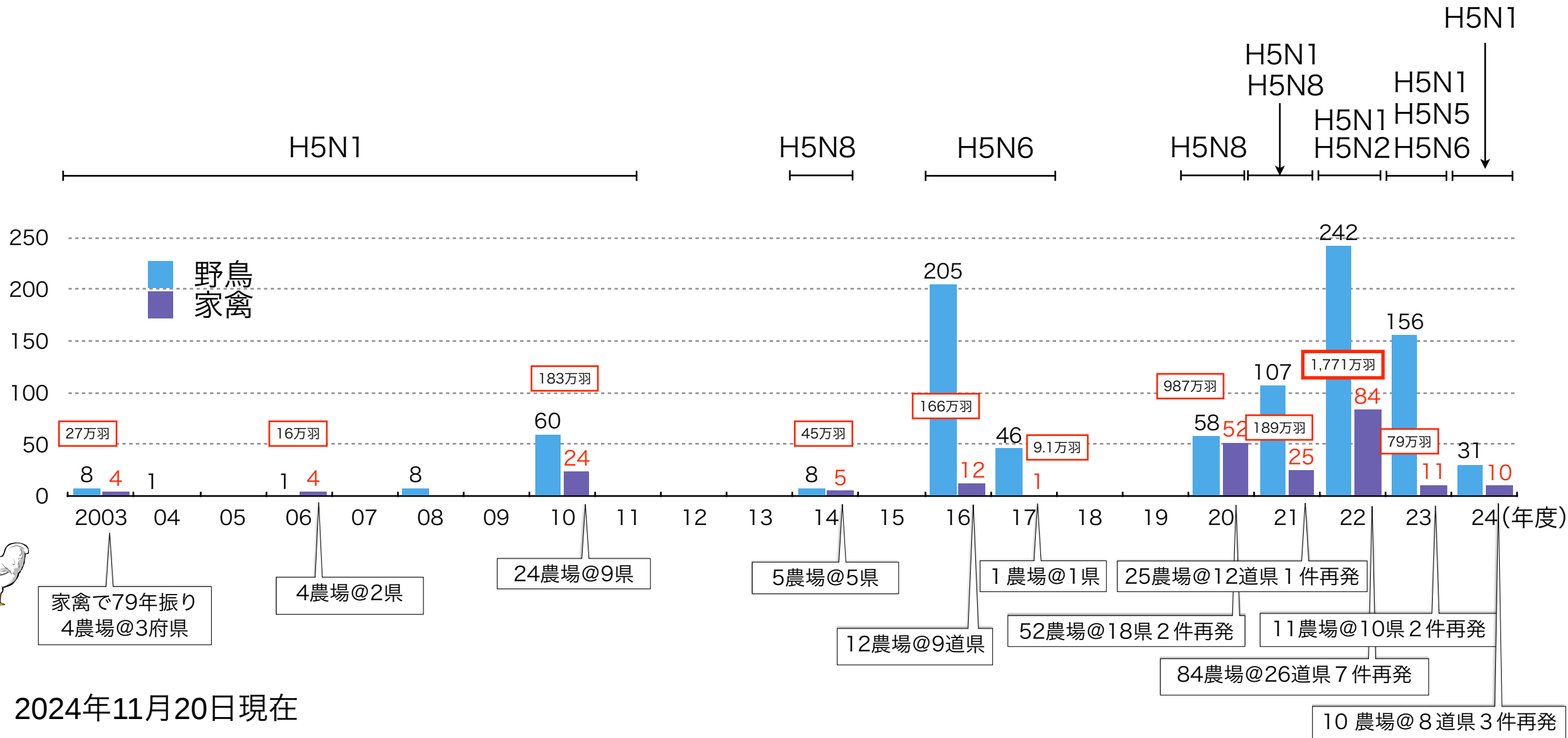
2024.7.1-2024.8.31 (夏季)



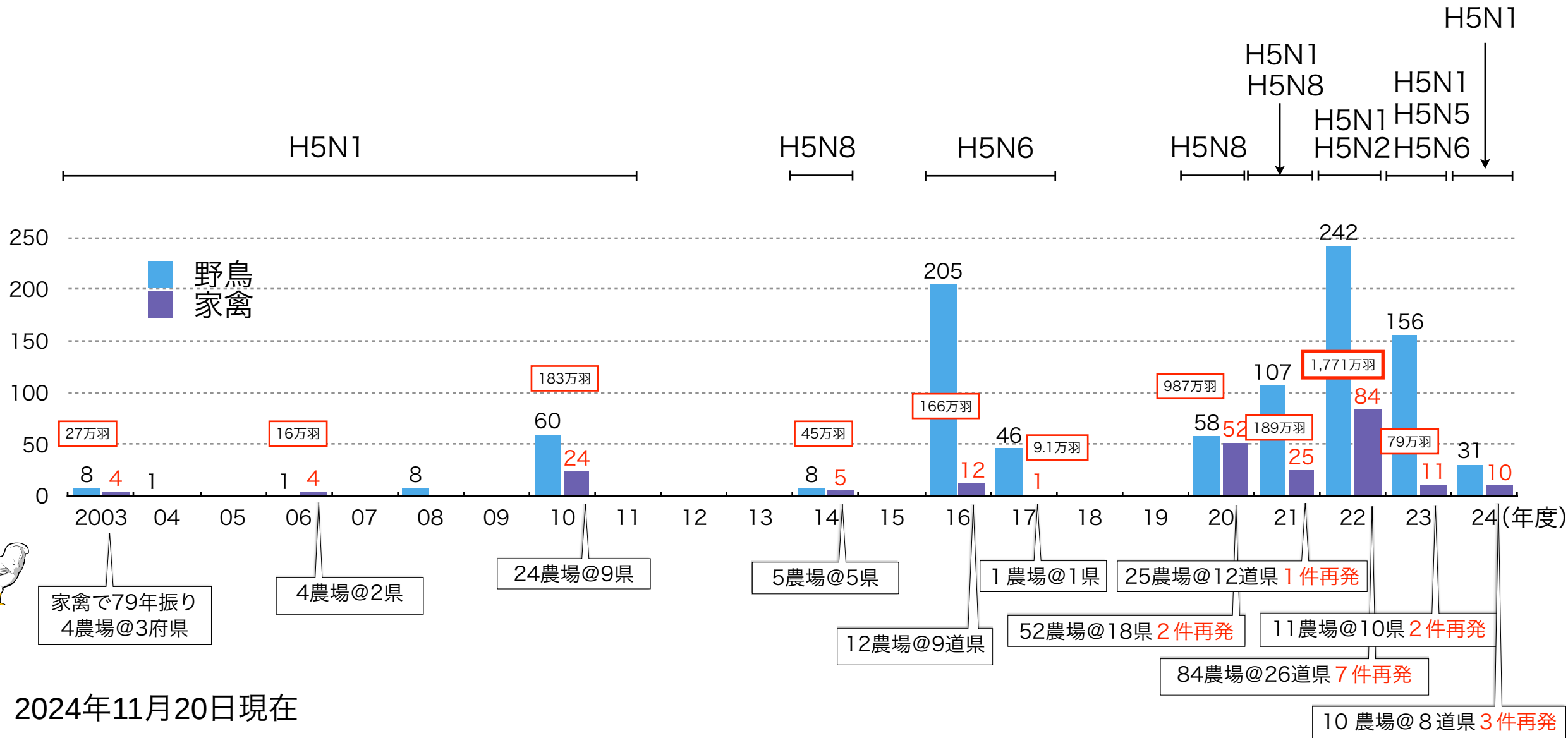
2024.9.1-2024.11.15 (秋以降)



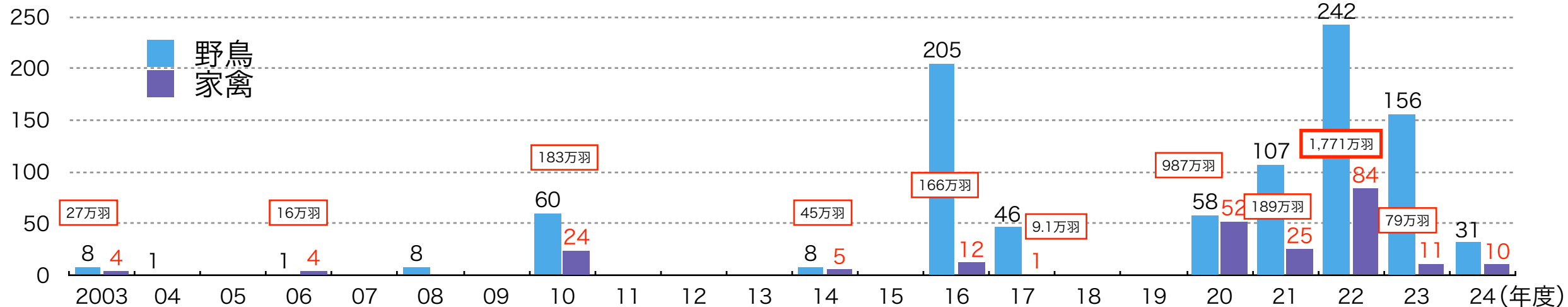




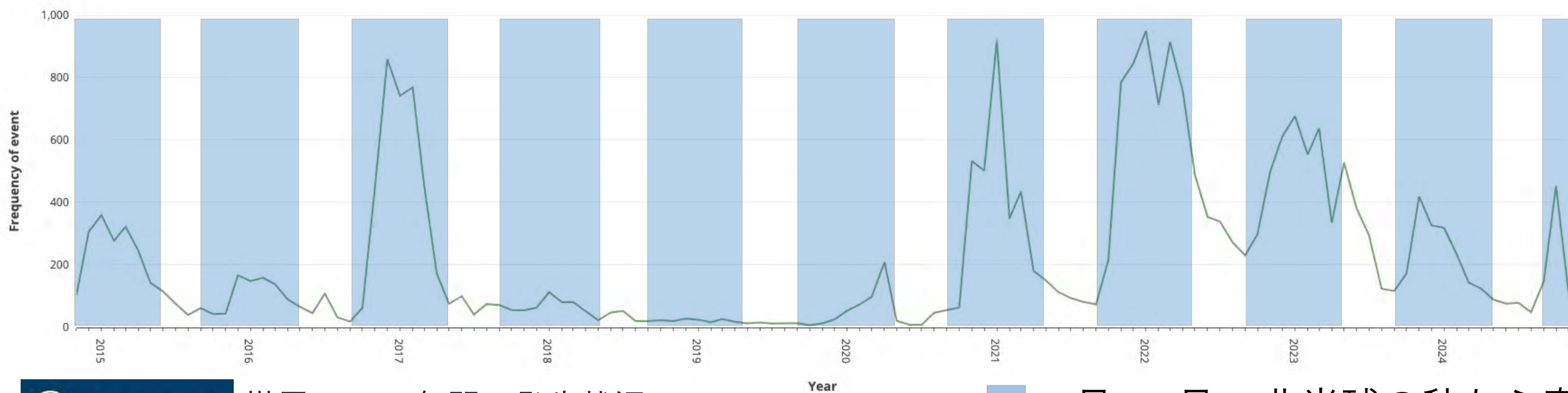
国内でのH5亜型による高病原性鳥インフルエンザ発生状況

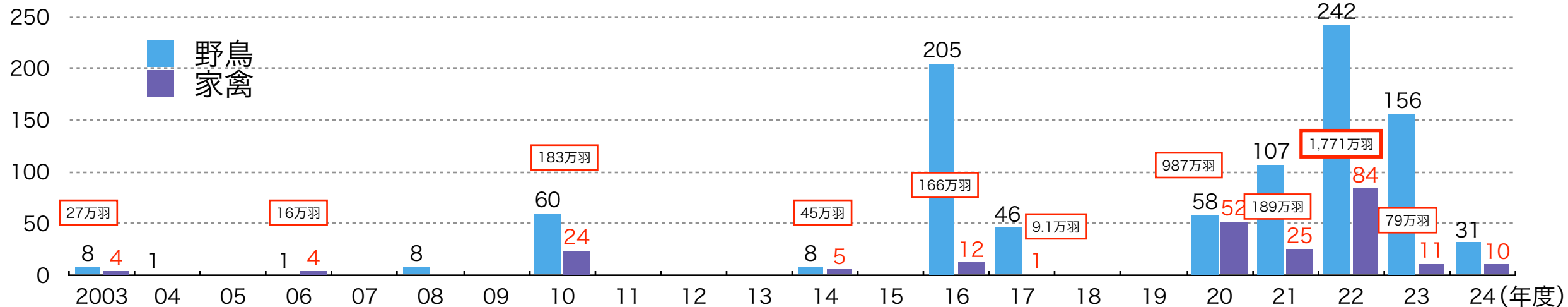


国内でのH5亜型による高病原性鳥インフルエンザ発生状況

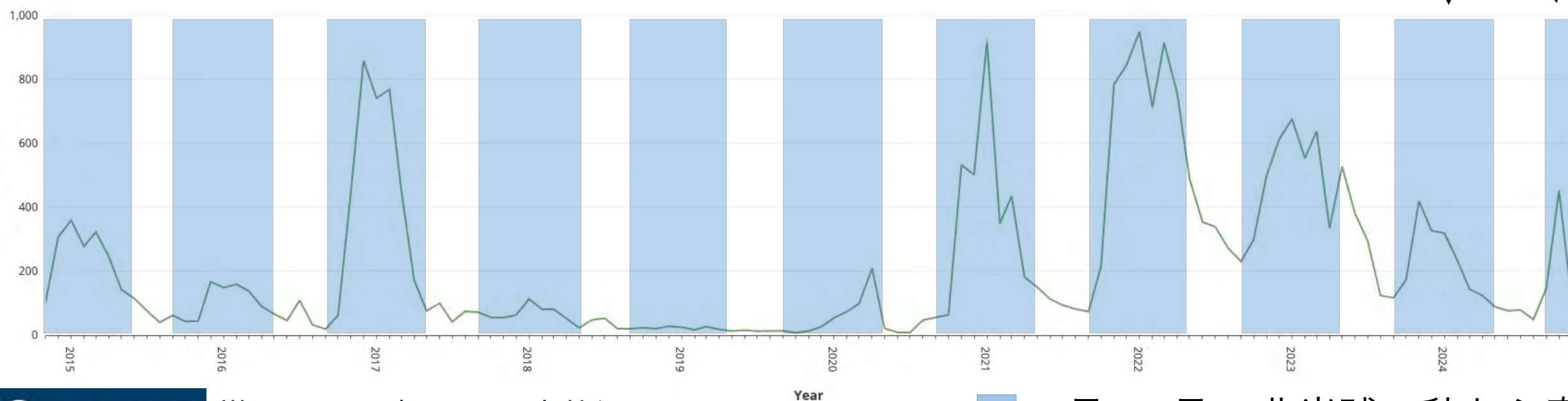


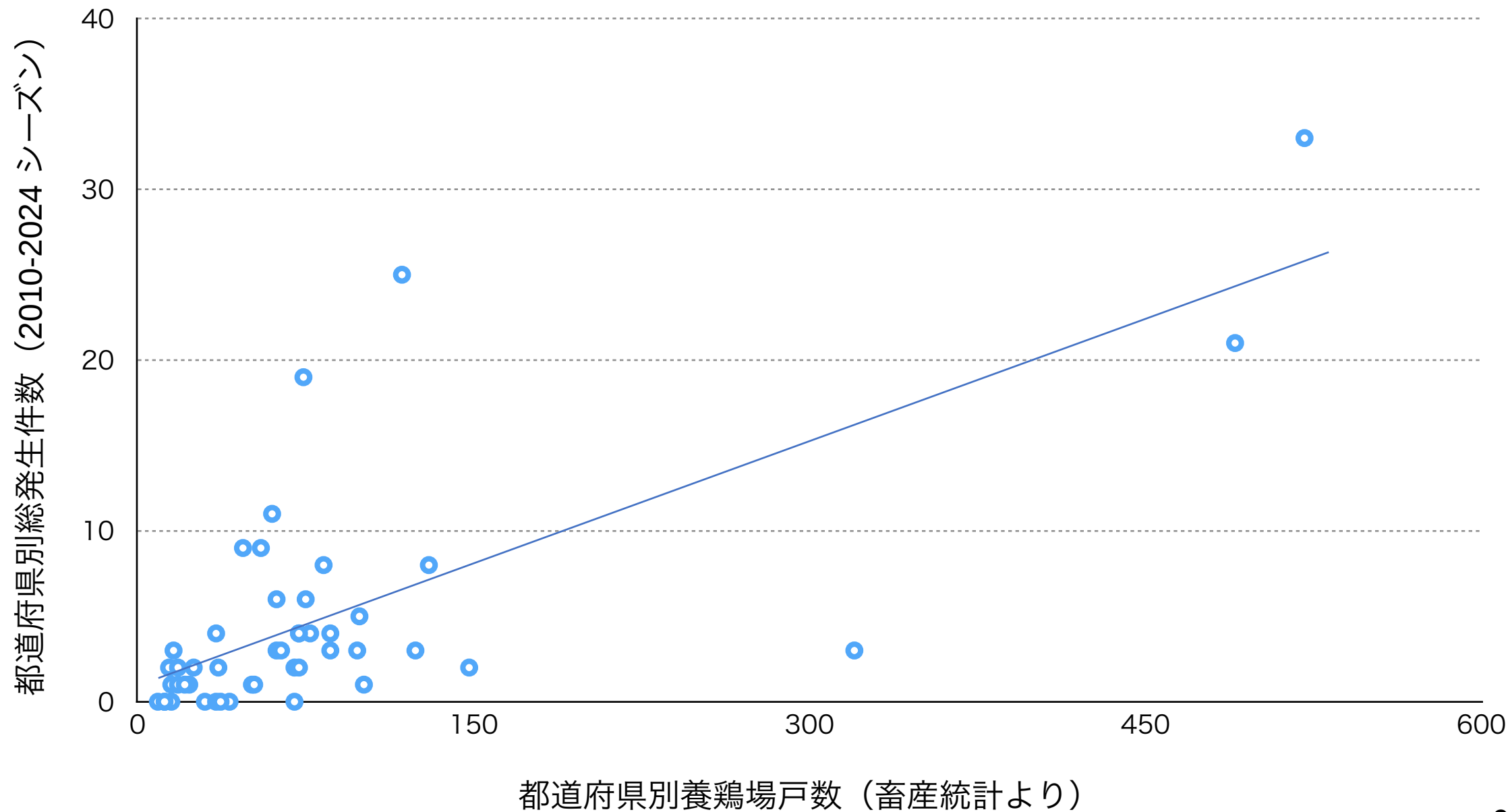
2024年11月20日現在

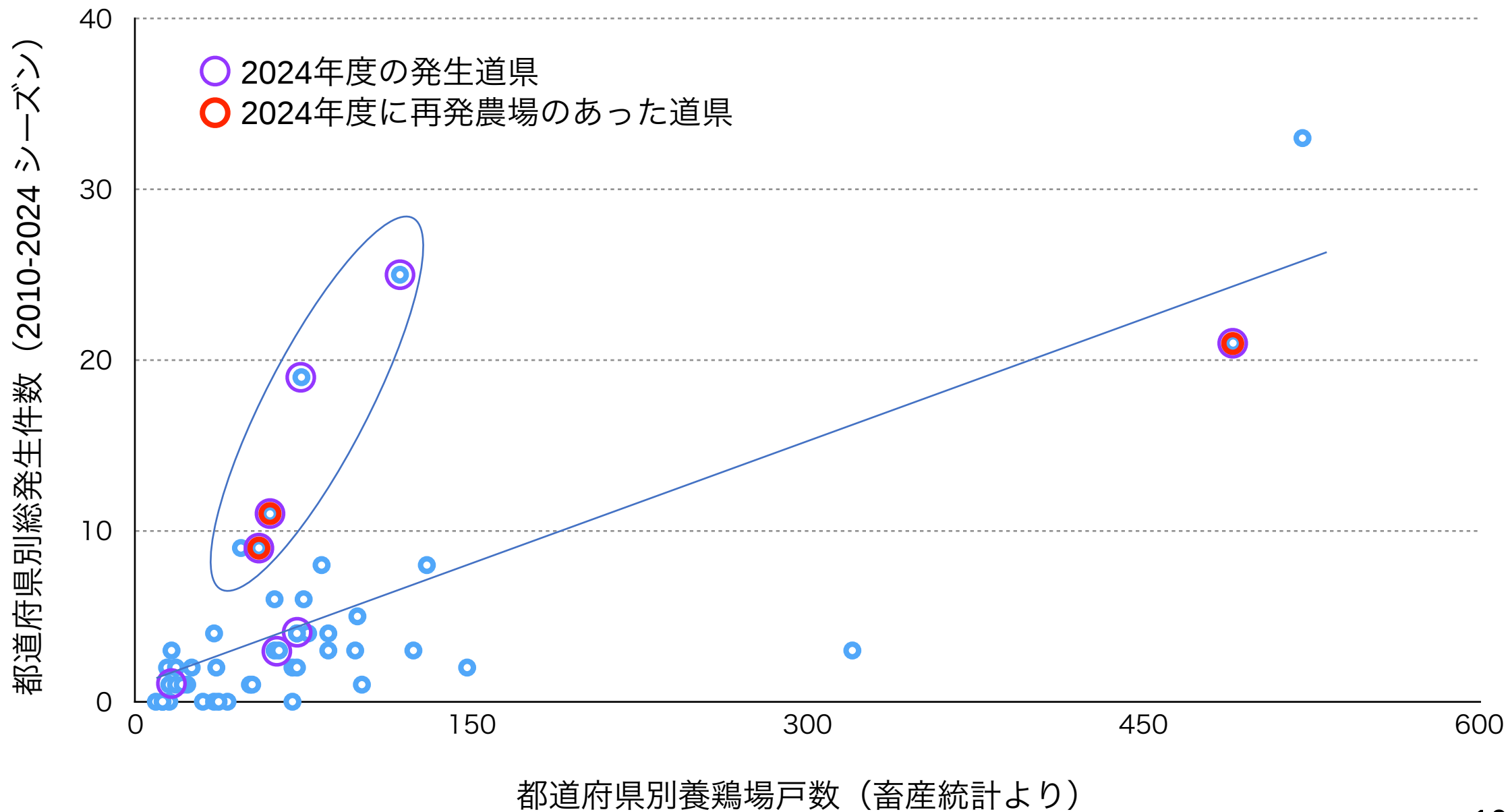




2024年11月20日現在







海岸

カラス

河川・水路

雑木林

水田

水鳥類

ため池

発生農場周辺環境の特徴とリスク



金網の破損・湾曲



金網の破損

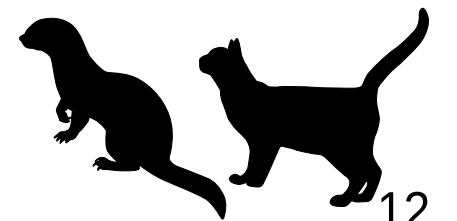


集卵コンベア開口部



戸と壁の隙間

樹木の枝が伸びた先に、
金網に埃がない場所があ
り、スズメ等の侵入口と
思われる



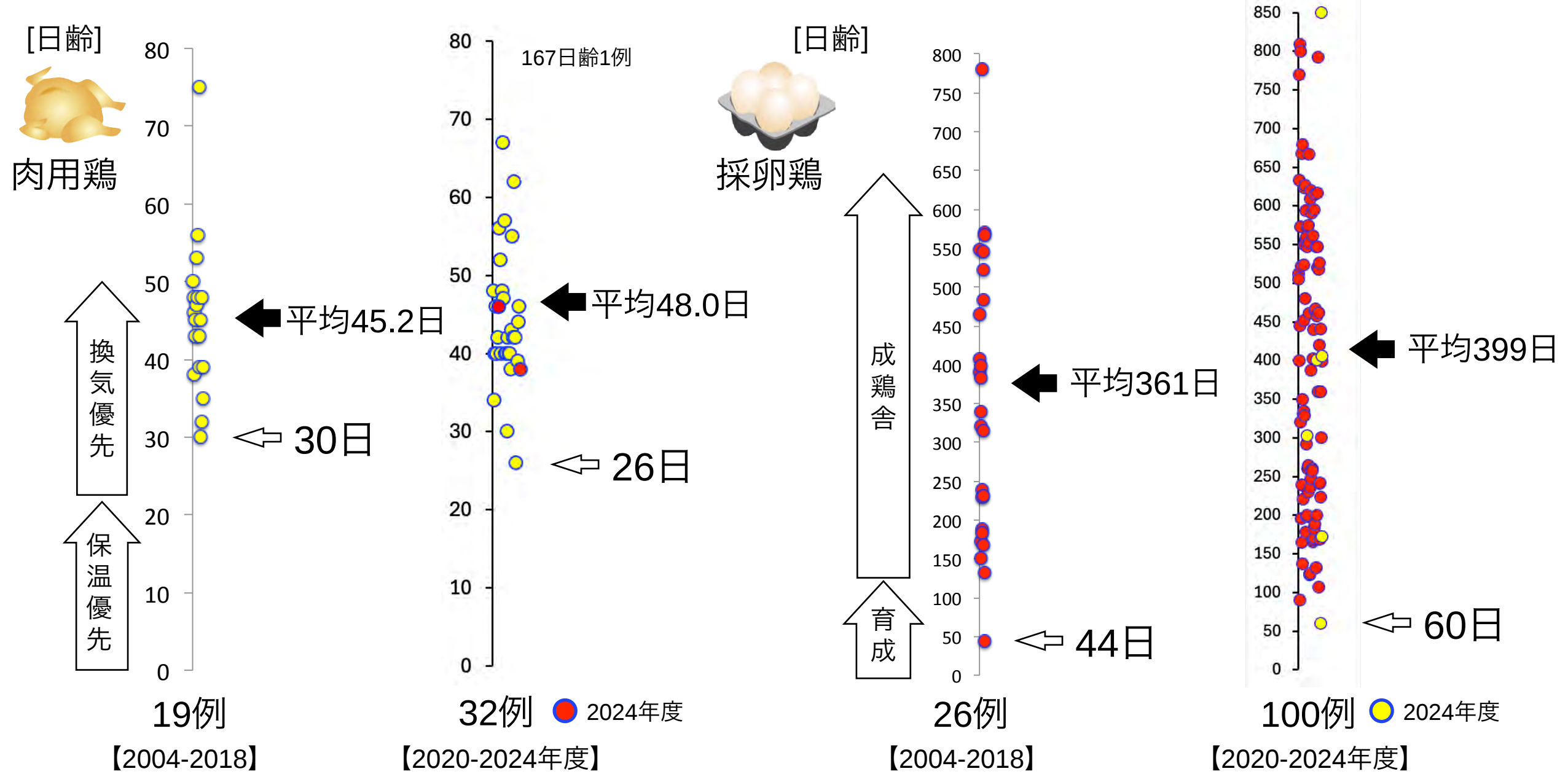
隙間の通過実験

イタチ



10秒後





高病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム報告、高病原性鳥インフルエンザ疫学調査チーム報告より

コマーシャル鶏でのHPAI発生日齢

•衛生管理区域設定

•枝の剪定
•実や花を付けない樹種

•水抜き
•ネット設置など

•水道水or水質検査or塩素消毒
•貯水タンクの野生動物対策

•家禽舎、堆肥舎、飼料倉庫
2cm×2cmの防鳥ネット

•集卵、除糞ライン、ピットからの侵入対策
•堆肥の搬出扉、出荷扉、作業者の出入口

•愛玩動物
飼育禁止

•堆肥舎、鶏舎、サビスルーム
の死鳥・廃棄卵の適正管理

•餌こぼれ
•タンクの蓋

•草刈り、整理整頓

•農場入り口、鶏舎周辺等
消石灰散布による待ち受け消毒

•衛生管理区域設定

•枝の剪定
•実や花を付けない樹種

•水抜き
•ネット設置など

•水道水or水質検査or塩素消毒
•貯水タンクの野生動物対策

•家禽舎、堆肥舎、飼料倉庫
2cm×2cmの防鳥ネット

•集卵、除糞ライン、ピットからの侵入対策
•堆肥の搬出扉、出荷扉、作業者の出入口

•踏み込み消毒槽の設置
•こまめな消毒液の交換

•衛生管理マニュアル作成
•従業員への周知
•入退場者の記録
•作業記録

•堆肥舎、鶏舎、サビスルーム
の死鳥・廃棄卵の適正管理

•愛玩動物
飼育禁止

•餌こぼれ
•タンクの蓋

•草刈り、整理整頓

•衛生管理区域専用の長靴
•衛生管理区域専用の作業服
•手指消毒の実施
•導入する物品の消毒
•持ち出しや退出時の消毒

•農場入り口、鶏舎周辺等
消石灰散布による待ち受け消毒

•入退場時の車両消毒
•乗降時の交差汚染防止

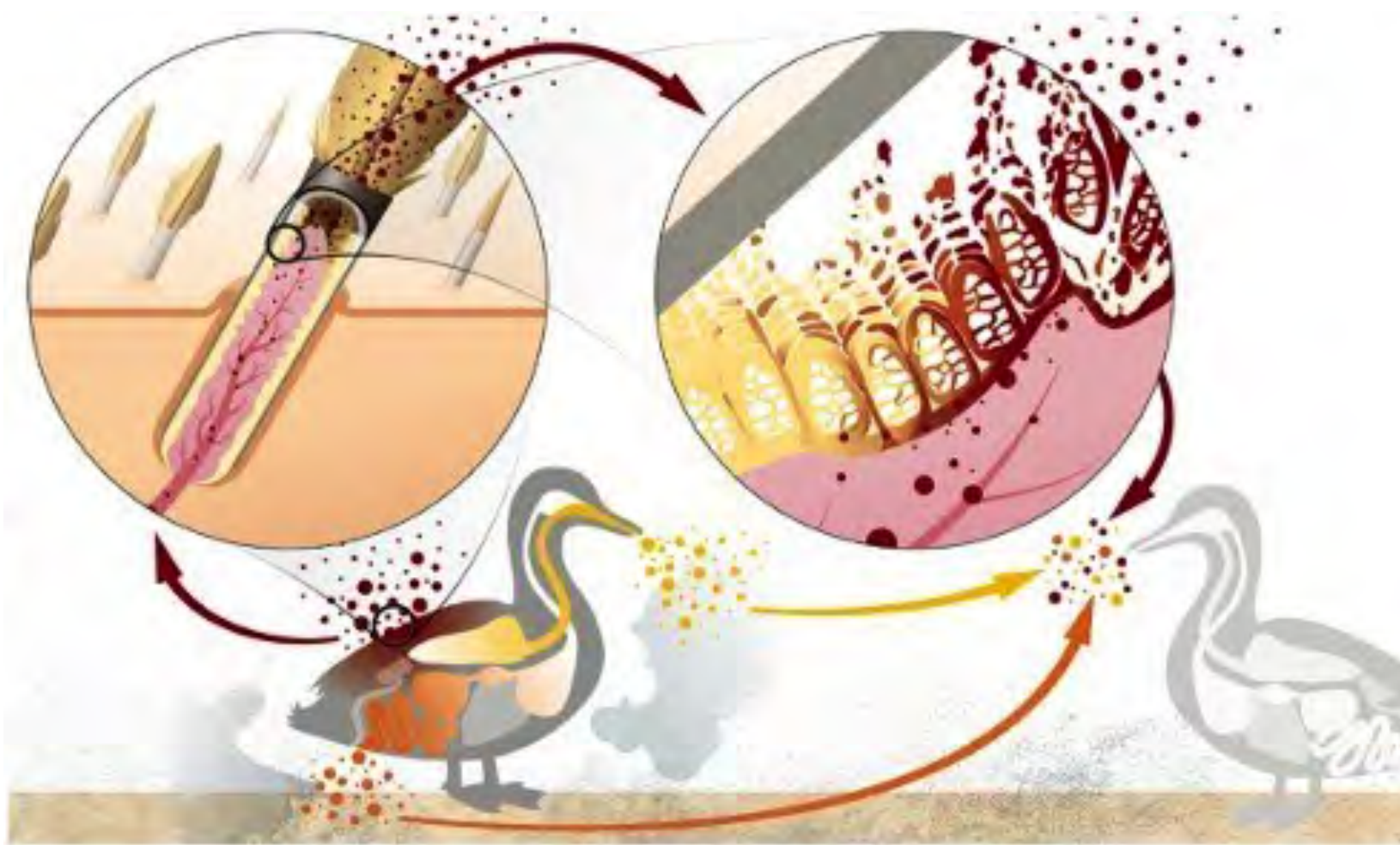
飼養衛生管理基準 16



Gaide, N *et al.* 2023, *Emerging Microbes & Infections*, 12(2).



Fujita, R *et al.* 2024, *Scientific Reports* 14, Article number: 10285



Gaide, N *et al.* 2023, Emerging Microbes & Infections, 12(2).



Fujita, R *et al.* 2024, Scientific Reports 14, Article number: 10285

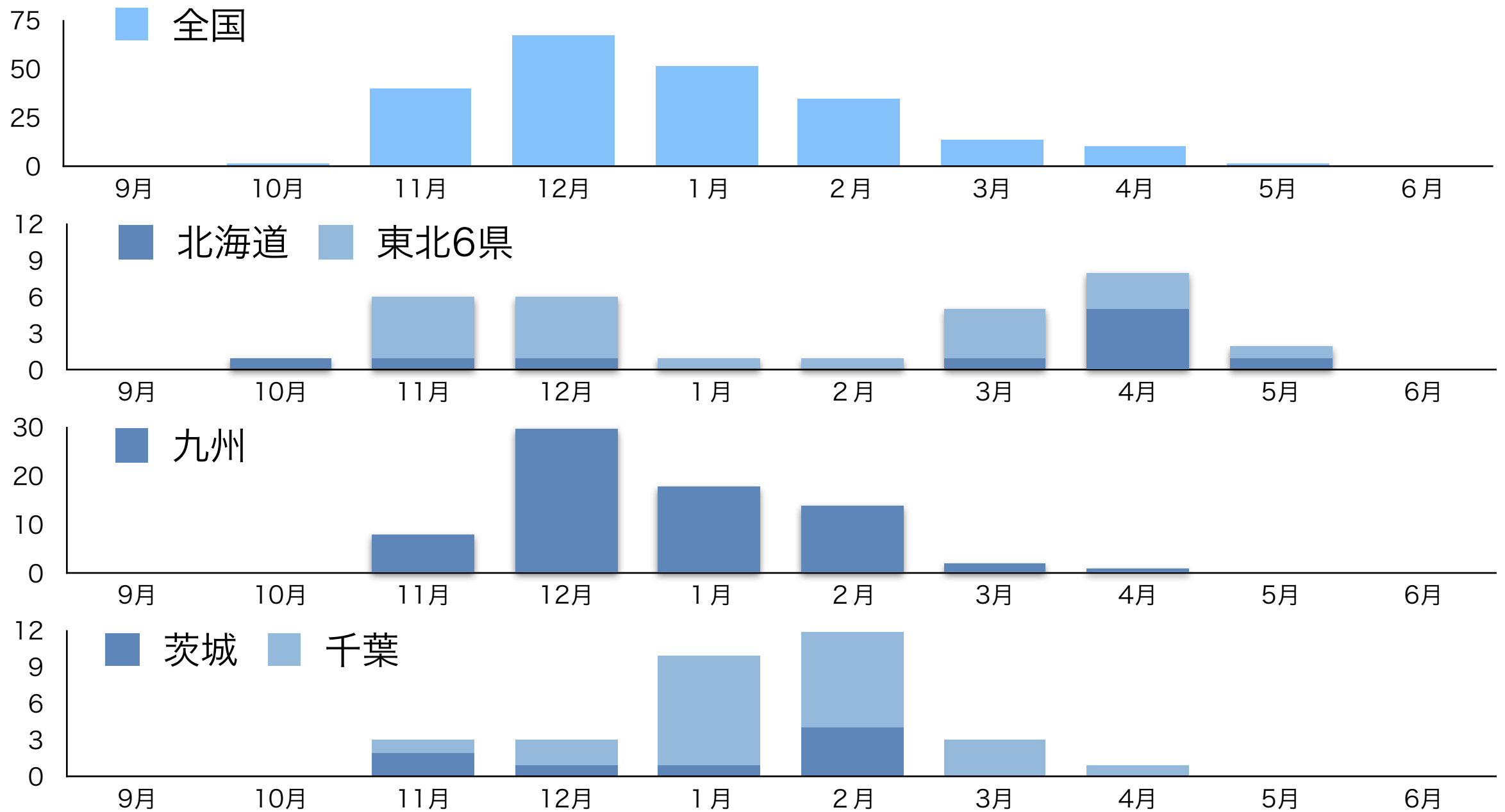
入気口対策

粉じん、羽毛等の取込み
対策に野鳥避けの設置。
フィルター設置も検討。

〔 普段は目が届きにくい
場所の対策も重要 〕

MAFF 高病原性鳥インフルエンザは世界的な発生が続いています。
農林水産省 関係者が連携し万全の対策をお願いします。

2023年9月



家禽のH5亜型AIVによる月別HPAI発生状況（2004～2024集計）

今シーズンの特徴まとめ

- ウイルスの状況
 - ✓既にウイルスは全国に分布（全国の野鳥や環境水から検出）
 - ✓特に水きん類は無症状で広く感染拡大している可能性が高い
- 発生農場の特徴
 - ✓10例中3例が令和4年シーズン発生農場での再発
 - ✓既発生農場や既発生地域では特に発生リスクが高いことを認識
 - ✓飼養衛生管理の水準が比較的高い農場でも発生
 - ✓野鳥感染未報告地域でも発生
- 環境中には多くのウイルスが存在、全国どこでも高い発生リスク
- 特に農場密集地、既発生農場

今後の主な対策

- 飼養衛生管理基準の遵守（衛生管理区域入場時の靴・衣服交換等の徹底）
- 野生動物対策
 - ✓ 野生動物が来ない環境作り
 - テグスの利用等農場内での野鳥対策、周辺水場の水抜き等、餌こぼれ、実のなる樹木、ネズミ対策、死鳥保管、廃棄卵、水場、田圃の二番穂、整理整頓など
 - ✓ 野生動物が家禽舎内に入れない環境作り
 - 防鳥ネット、バーコンシャッター、除糞ベルトの蓋、壁の穴や隙間対策など
- 一歩踏み込んだ塵埃等への対策
 - ✓ 鶏舎周辺の散水・消毒、入気口のフィルター、細霧装置の設置など
- ◎ 特定症状に限らず、僅かな異状でも速やかに家保に連絡